

楠まちづくり新聞

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

令和元年度定期総会

6月2日(日) 松ヶ丘集会所で、79名(内委任状37名)の参加を確認後、10時から令和元年度定期総会を開催しました。

先ず最初に市役所自治協働課の皆様と地域サポーターの方を紹介し総会がスタートしました。

平成30年度の事業報告と収支決算報告・会計監査報告が順次行われ、「つながる会」の活動実績として全ての報告が異議無く無事承認されました。

引き続き令和元年度の事業計画(案)と収支予算(案)が発表され、全員での審議の結果、原案通り可決承認されました。

次に、今年度新任の校長先生お二人をお迎えして各学校の現状報告や地域との連携についてのお話をお聞きました。

最初に大阪暁光高校の谷山校長先生、次に楠小学校の齋藤校長先生でし



楠小学校 齋藤校長先生



大阪暁光高校 谷山校長先生

最後に、出席された各自治会長に「避難所運営マニュアル 楠小学校版」をお配りして総会は無事に終了しました。

昨年度と同様に「研修部会」、「広報部会」、「総務部会」、「高層集合住宅部会」の4部会構成で運営していきます。

各部会での具体的な事業活動について。

【研修部会】

地域の自主防災意識を高めるため、会員や自主防災組織を対象として、防災研修施設等への視察、または、安全・安心なまちづくりの参考になる地域の視察や意見交換を行う。

【広報部会】

自治会等の活動を支援し、様々な地域課題や情報を共有し、その解決に向けて連携を促すため、広報紙「楠まちづくり新聞」を年4回発行(継続)する。自治会等を通じて個別配布する。

人材バンク登録者の発掘を行い、広報紙「楠まちづくり新聞」に掲載する。

ホームページにて、活動報告や情報発信をする。

【総務部会】

防災かまどベンチの管理・運営。避難所運営マニュアルを適宜見直す。

【高層集合住宅部会】

高層集合住宅独自の「まちづくり」の問題点を話し合い、地域との協働を目指す。

つながる会 発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

第4回 防災デイキャンプ 開催のお知らせ

- 開催場所 河内長野市立 楠小学校 校庭または体育館
- 開催日時 令和元年7月28日(日) 午前9時～午後2時
- 対象 小学1年生～6年生 50名 保護者の方の参加も歓迎します
- 参加費等 昨年は500円(詳しくは後日発表されます)



昨年8月 大阪暁光高校に集合



かまどベンチの使用



バケツリレーの実施

7月のイベント

第1回 駅フェス千代田 開催のお知らせ

- 開催場所 南海電鉄 千代田駅 西側広場
- 開催日時 9月7日(土) 11時～22時 イベント内容はHP参照
- 目的 南海高野線 千代田地区の賑わいの創出と地域の交流を図ります
- 主催者 千代田活性化実行委員会 <https://chiyodafes.wixsite.com/chiyodafes/>



南海電鉄 千代田駅西側で



今年の5月18日(土)に行われた



第0回「駅フェス千代田」の様子です

9月のイベント

寺ヶ池ハザードマップ

令和元年の5月に河内長野市役所から「寺ヶ池ため池ハザードマップ」が公表されました。詳しくは市役所ホームページの「農林課」↓「寺ヶ池ハザードマップについて」を参照願います。

大阪府では、平成23年に発生した東日本大震災でのため池の決壊による甚大な被害を教訓とし、平成24年度より、堤体が決壊時に下流への影響が大きいため池に対して、左の12箇所のため池等について、一定の耐震性能を有していると評価されています。



寺ヶ池に関しては平成24年度に「ため池耐震性診断」を行い以下の様な診断結果が出ています。大規模地震発生後たまたちに貯水機能が損なわれ

るような堤体の大きな変形や、破壊に至るようなひび割れの進展、圧縮応力、せん断応力は発生しないことが確認されました。

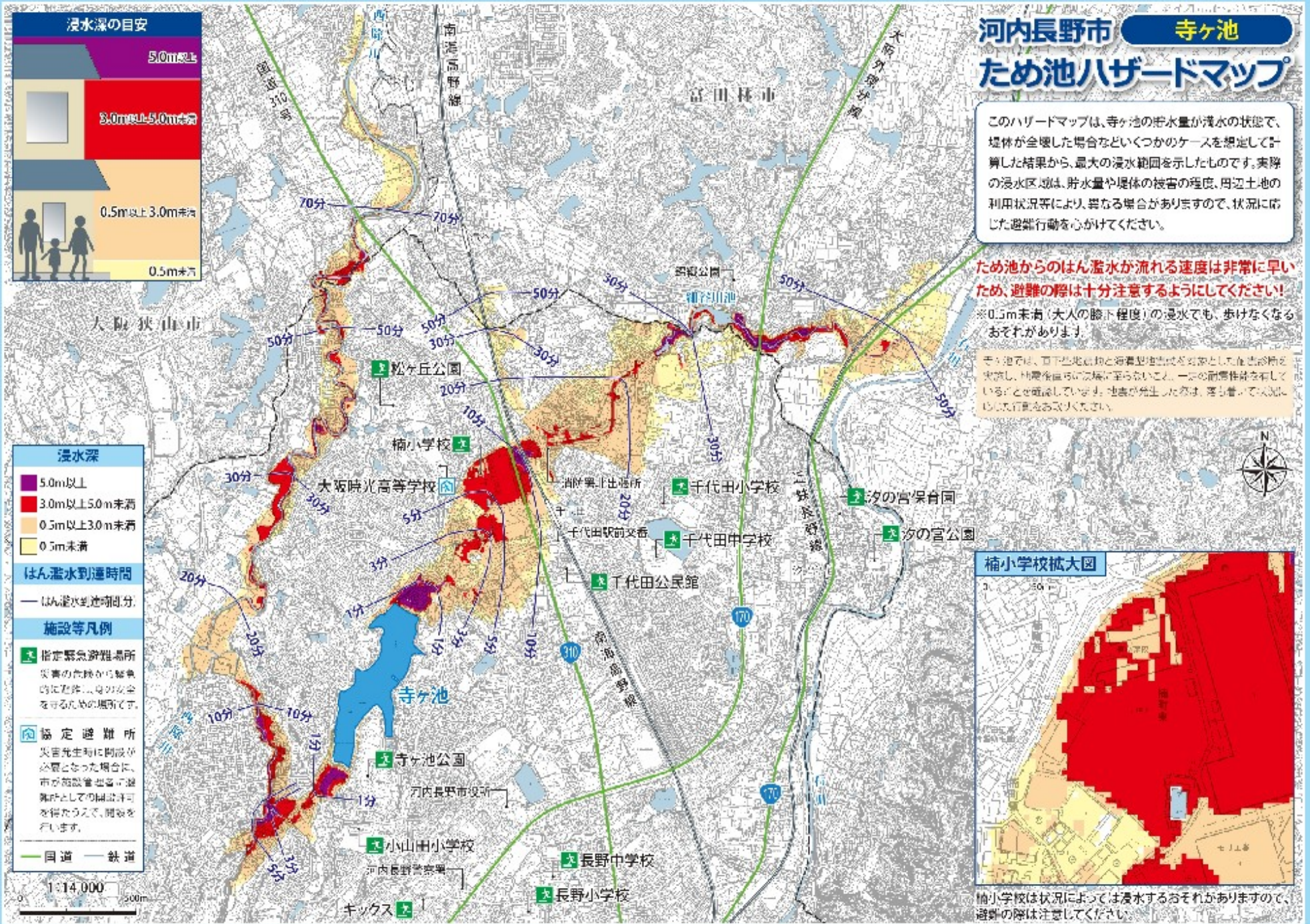
河内長野市 寺ヶ池 ため池ハザードマップ

このハザードマップは、寺ヶ池の貯水量が浅水の状態、堤体が全壊した場合などいくつかのケースを想定して計算した結果から、最大の浸水範囲を示したものです。実際の浸水範囲は、貯水量や堤体の被害の程度、周辺土地の利用状況等により、異なる場合がありますので、状況に応じた避難行動を心がけてください。

ため池からのはん濫水が流れる速度は非常に早い
ため、避難の際は十分注意するようにしてください！

※0.5m未満（大人の膝下程度）の浸水でも、歩けなくなるおそれがあります。

寺ヶ池では、右下の土地は河内長野市と和歌山県との境界線に接しているため、地震発生時に境界線付近に被害が生じ、河内長野市に波及するおそれがあります。避難の際は十分注意してください。



楠小学校は状況によっては浸水するおそれがありますので、避難の際は注意してください。

留意点

「つながる会」では「寺ヶ池ハザードマップ」の提示を受け、以下の様な質問を「農林課」、「危機管理課」に投げかけました。

以下は質問と回答のやりとりの中で、特に避難所に関する内容から抜粋しました。

- ・楠小学校は避難所として適しているか
- ・災害の種類や規模に応じて避難場所を選んでいきます。通常の風台風や震度5までの地震であれば引き続き避難所として指定していきます。
- ・楠小学校に避難できない場合には
- ・自主避難のための避難所を2ヶ所開設します。避難者数が多くなれば近接の小学校に避難所を開設します。さらに大規模災害発生時には協定避難所の開設も検討します。西除川を渡るのが危険な場合には大阪狭山市の小学校も利用できるように協議済みです。

- ・避難の際の留意点
- ・災害の種類や規模に応じて、どのような被害が想定されるかを考えて避難行動をとってください。そのために、普段

からお住いの場所の特性や危険について知っていただくとともに、発災時には市からの災害情報を確認してください。

こういった質問と回答のやりとりについての詳細は「つながる会」ホームページの「6月14日運営委員会」のページを参照願います。

最後に、市役所からの連絡です。このハザードマップは多数用意してありますので必要な方には市役所4階農林課にて配布しています。また市のホームページにも掲載されています。

編集後記

まちづくり新聞の第二十二号をお届けします

メール kusunoki.info@gmail.com

<https://ksrd.jp/kusunoki/>

つながる会

検索